

対話を重視した授業改革と

授業改革
/055

ICTの有効活用についてvol.4 ～教室の隅々まで授業改革を～



「対話を重視した授業改革とICTの有効活用について」vol.4の事例のポイントは、本時の目標の達成に向け、子どもたちがICTを有効に活用し、対話を通して自分の考えと他者の考えの価値交換を行っている点です。

石狩管内における対話を重視した授業改革とICTの有効活用の実践事例

石狩市立花川南小学校 第5学年 算数



これまでに学習してきたことを基に、台形の面積の求め方について考え、自分の考えを友達に説明しました。ICTを活用し、図形を操作することで、子どもたちが自分たちの考え方の関連性について検討していました。

石狩市立花川小学校 第6学年 算数



角柱の体積の求め方について考え、ICTを活用して、自分の考えを友達に説明しました。子どもたちの考えを教師が大画面に示すことで、子どもたち自身が自分の考えとの関連性を意識して、対話する相手を選んでいました。

江別市立文京台小学校 第2学年 音楽



グループでイメージした演奏となるよう、太鼓を叩いて音を出しながら、音楽づくりを行いました。ICTを活用し、演奏の様子を録画して振り返ることで、自分たちの考えの共通点を整理して対話を進めていました。

恵庭市立恵庭小学校 第3学年 算数



分数の計算方法について考え、ICTを活用して、自分の考えを友達に説明しました。対話を通して、自分の考えと相手の考えを比較し、関連性を見付けるなど、分数の計算方法について理解を深めていました。

【担当から】

今回紹介した4校は、本時の目標の達成に向け、子どもたちがICTを有効に活用し、対話を通して自分と他者の考えの共通点や相違点等の関連性を見だし、価値交換を行っている事例です。

今回紹介した事例のように、ICTを有効に活用した授業改革の好事例が管内には多くあります。本事例を参考に、全ての子どもの学力を保障する「授業改革055!」を推進しましょう！

(義務教育指導班 指導主事 加藤 慎嗣)